



# 山へのハイキングなど、秋のレジャーは ダニが媒介する感染症に注意!

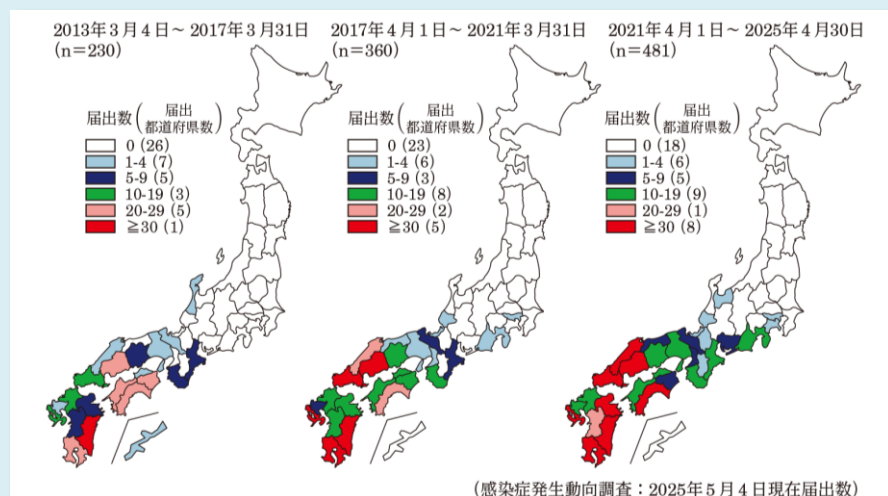
気候変動の影響により、屋外に生息するダニの活動範囲が拡大しており、それに伴い、ダニが媒介する感染症のリスクも高まっています。屋外での運動、レジャーやアウトドア活動を楽しむ際には、対策を忘れずに行いましょう。

## ダニが媒介する感染症の発生地域が拡大しています

ダニが媒介する感染症のうち、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)はSFTSウイルスを保有するマダニに刺されることによって起こる感染症です。主に発熱、全身倦怠感、消化器症状が現れ、重症例では出血傾向や意識障害を伴い、死亡することがあります。マダニは主に森林や草地などの屋外に生息しており、農作業や山林での活動の際には感染予防策の徹底が求められています。

発生地域はこれまでは西日本中心でしたが、徐々に東日本へと範囲が拡大しています。気候変動による植

生の変化、ニホンジカなど野生動物の行動変化によりSFTSの発生地域が拡大している可能性が示唆されています。



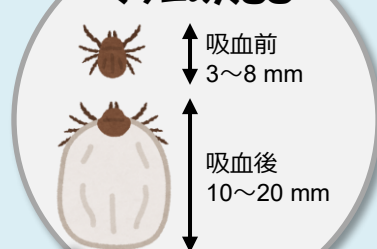
SFTSの都道府県別届出数

出典: 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイトホームページ  
(<https://id-info.ijhs.go.jp/surveillance/iasr/IASR/Vol46/546/546t.html>)

県内では  
令和7年9月時点で  
2件報告されています!



### マダニの大きさ



## マダニに刺されないよう注意しましょう!

マダニの活動が盛んな春から秋にかけては、マダニに刺される危険性が高まるため、草むらや藪などのマダニが多く生息する場所に入る場合には注意が必要です。

- ① 肌の露出を減らす服装をする
- ② 野外活動後にマダニが付いていないか確認する
- ③ 服に付いたマダニはガムテープを使って取り除く
- ④ 防虫スプレーを使い付着するマダニの数を減らす

吸血中のマダニに気が付いた際、無理に引き抜こうとするとマダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、マダニの体液を逆流させて病原体が体内に入りやすくなる恐れがあるため、医療機関(皮膚科など)で処置をしてもらってください。

詳しくは、県感染症情報センターHPで確認! ▶

### 服 装 の ポ イ ン ト

- ❖ 帽子・手袋を着用、首にはタオル
- ❖ 長袖・長ズボンを着用
- ❖ シャツの袖口は手袋の中に入れる
- ❖ シャツの裾はズボンの中、ズボンの裾は靴下か長靴の中に入れる
- ❖ 足を完全に覆う靴を着用
- ❖ マダニを見つけやすい明るい色の服を着る



栃木県気候変動適応センター【事務局: 栃木県環境森林部気候変動対策課 ☎028-623-3187】

気候変動とその影響、気候変動影響による被害を回避・軽減するための適応策に関する情報はセンターHPを御覧ください。

(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/tochi-tekiou.html>)

HP▶



◀ X (旧 Twitter)